

第 5 回全国大会の案内です

TEL : 096-345-8111 FAX : 096-346-1325

E-mail : info@juryo.or.jp

研究・論文発表、ポスター展示、懸賞論文を募集中です。

1. 研究論文発表 まだ間に合います！至急ご連絡を

申込締切・・・4月30日当日消印有効

演題名、内容要旨(形式不問)、キーワード(6つ以内)、発表者名(登壇者にはふりがな)、連絡先(団体名、〒番号、住所、電話、FAX、E-mail)を郵送、FAX、E-mailにてお送りください。

※申込受付後、大会事務局より執筆要項をお送りします。HPにも掲載予定です。

(原稿締切は5月31日)

2. ポスター展示

申込締切・・・5月30日当日消印有効

(全国市町村等の地域における福祉のまちづくりの事例発表)

演題名、内容要旨(形式不問)、代表者、共同作成者、連絡先(団体名、〒番号、住所、電話、FAX、E-mail)

ポスター出品者に限り参加費 2000 円

3. 懸賞論文 テーマ「福祉のまちづくりを私はこう考える」(400字×6枚 2400字程度) 締切・・・

6月29日当日消印有効

最優秀賞 1名 賞状及び賞金 10万円

優秀賞 2名 賞状及び賞金 5万円

●申し込み方法など詳しくは大会事務局までお尋ね下さい。

日本福祉のまちづくり学会第5回全国大会事務局：熊本機能病院 企画広報課 五島

研究論文発表担当：寺本

ポスター発表担当：三宮、中山

懸賞論文担当：柴原・五島

〒 860-8518 熊本市山室 6-8-1

国際 UD 会議のお知らせ

2002年11月30日から12月4日まで、横浜で国際ユニバーサルデザイン会議が開催されます。

公式サイト

<http://www.ud2002.org/index-j.html>

この会議は、アメリカで2度にわたって Adaptive Environments Center によって主催されたユニバーサルデザイン国際会議を受けて開催されるもので、今回の会議の成果は Adaptive Environments Center が2004年に開催を予定している会議に引き継がれます。世界各国から UD の専門家が集まる予定です。

日本で UD の実現を目指す多くの企業や団体が協賛/協力/後援を表明しています。

開催日時/

公開シンポジウム・開会式 11月30日

本会議(分科会・全体会議・展示会ほか)

12月1日～4日

開催場所/

パシフィコ横浜

横浜グラウンド・インターコンチネンタル・ホテル

主催/

国際ユニバーサルデザイン会議2002組織委員会

事務局/

相鉄エージェンシー/パシフィック・コンベンション・

サービス

TEL : (045)450-7003

E-mail : info@ud2002.org

今年の全国大会は8月8日(木)9日(金)10日(土)熊本市市民会館(熊本市桜町1-3)で開催されます。ご予約ください。

交通バリアフリー基本構想策定

セミナーのご案内

志高い交通バリアフリーを目指して

～この1年の成果を先進事例から学ぶ～

交通バリアフリー法が施行され、各自治体で基本構想を策定する動きが活発になり約1年が経過しました。この間、全国で様々な構想が計画され、各々の事例がようやく見られる段階となりました。そこで、地方自治体やコンサルタントがよりよい計画をつくる参考となるようにと、以下の内容のセミナーを土木学会他との共催で計画しました。

東京と大阪の2箇所で開催しますが、内容はどちらも同じです。

主催：日本福祉のまちづくり学会

土木学会「高齢社会における交通システム体系に関する小委員会」

交通バリアフリー推進支援連絡協議会（バリアフリー推進ネットワーク）

交通エコロジー・モビリティ財団

後援：国土交通省（予定）

日時：大阪会場

5月29日（水） 13：15-16：45

東京会場

6月19日（水） 13：15-16：45

会場：大阪会場 福島区民センター

大阪市福島区吉野3-17-23

(06-6468-1771)

東京会場 麻布区民センター（予定）

港区六本木5-16-45

(03-3583-5487)

内容：（両会場とも基本的に共通）

基本構想の基本的なスタンス

藤沢市－住民参加型道づくりの原点から出発

荒川区－自治体自らの力でつくった

守山市－市民全員参加を目指して

堺市－町内の連携力を発揮

総括コメント

討論－

参加費：2000円（当日現金でお支払いください）

申し込み方法：①氏名、②所属と部署、③住所、④電話とファックス、⑤メールアドレスをご記入の上、F

A X、手紙、メール等で下記まで申し込みください。
申し込み締め切り：

大阪会場 5月20日

東京会場 6月10日

申し込み先：

土木学会小委員会事務局（交通エコロジー・モビリティ財団 藤田）

東京都千代田区麴町5-7 秀和紀尾井町ビル
TBR808

TEL 03-3221-6673 Fax03-3221-6674

E-mail: m-fujita@ecomoo.or.jp

※両会場とも先着200名様で締め切らせていただきます。

特別フォーラム in 東京

「障害者権利条約とバリアフリー社会－どこまで来ている国連の動き、アジアから追い風を！－」

参加者募集！

<http://www.normanet.ne.jp/~forum/new/2002/20020419.htm>

本フォーラム組織委員会では、5月20日（月）、中野サンプラザ「鳳凰の間」（東京都中野区）にて、特別フォーラム in 東京「障害者権利条約とバリアフリー社会－どこまで来ている国連の動き、アジアから追い風を！－」を開催いたします。

【申込先・問い合わせ】

最終年記念フォーラム事務局（日本障害者リハビリテーション協会内／担当：坪松）

TEL. 03-5287-2346

FAX. 03-5287-2347

E-mail: ap_forum@mx.normanet.ne.jp

第17回リハ工学

カンファレンス 開催のご案内

リハ工学カンファレンスでは、障害のある方のリハビリテーションを支援する機器や技術について、リハビリテーションに関係するさまざまな分野の参加者が互いに理解できる言葉で話し、実りある情報交換をすることを目的としています。

障害のある方、工学・医学・福祉・教育・行政などの関係分野の方だけでなく、「リハビリテーションのための工学技術の応用」について興味をお持ちの方は、ぜひご参加ください。

なお、このカンファレンスはリラックスした雰囲気の中で話し合うことを大切にしていますので、気軽な服装でご参加ください。

開催日：2002年8月29日（木）～8月31日（土）
※なお、カンファレンスの前後に日本リハビリテーション工学協会各SIG主催の講習会が予定されています。

会場：港南区民文化センター

ひまわりの郷福祉保健研修交流センター
ウィリング横浜

神奈川県横浜市港南区上大岡西 1-6-1

主催：日本リハビリテーション工学協会

事務局：

〒222-0035 神奈川県横浜市港北区鳥山町
1770

横浜市総合リハビリテーションセンター企画研究室
室内

担当 深野・中村

TEL 045-473-0836

FAX 045-473-1299

E-mail: mail@jcart17.jp

http://www.jcart17.jp/

北米リハビリテーション工学会の25周年記念大会の案内です。

RESNA 25TH

International Conference

Technology & Disability :

Research, Design, Practice and Policy

June 27 - July 1, 2002

Hyatt Regency Minneapolis Hotel

Minneapolis, MN

Special Program

State of the Science of Universal design research

Saturday, June 29 9:45am - 4:15 pm

Hyatt Regency Minneapolis Hotel

Minneapolis, MN

o Human Factors Research

o Product and Environmental Research

o Manufacturer and Consumer Research

o International Perspectives

Universal Design in Europe

Universal Design in Japan

For more Information, Contact:

RESNA 2002 Conference

1700 N, Moore Street, Suite 1540

Arlington, VA 22209-1903

703-524-6630(Fax)

www.resna.org/conference/index.html

IFA2002

国際高齢者協会第6回世界大会&展示会

2002年10月27日～30日

オーストラリアのパーズで開催されます

IFA 国際プログラム委員の白石正明さんは、以下の2点を強調されています。

- 1) この会議には世界六大陸からの高齢者関連団体のリーダーが集まります（モントリオールは68カ国から1800人）。民間ではIFAの会議だけの特色です。
- 2) ですから世界の高齢者問題の情報収集とネットワークができます。これは高齢者マーケットを考えるすべての人、企業にとってはチャンスです。

<http://www.congresswest.com.au/IFA/>

最近の報道から -News Pick Up

身障者の車に四つ葉マーク

道交法施行規則を改正

警察庁は、身体障害者が運転する車に付ける「障害者マーク」に四つ葉のクローバーを採用、11日の国家公安委員会で表示方法などを定めた道交法施行規則の一部改正の承認を得た。

代行運転の車に表示するマークのデザインを定めた自動車運転代行業適正化法施行規則も同日、承認された。

一部を除き、いずれも6月1日から施行する。

障害者マークは、直径12・2センチの青の円形で、その中に、葉をハート形にした白色の四つ葉のクローバーが描かれている。

警察庁によると、四つ葉のクローバーは「幸福の象徴」とされ、マークには、身障者に安全で優しい交通環境の実現への願いが込められているという。車の前、後部に表示する。

〈ところで、国際シンボルマークの扱いはどうなったんでしょうね?〉

国土交通省がバリアフリー度で全国の駅を“格付け”

国土交通省は9日、全国の主要駅のバリアフリー度を星の数で3段階に格付けした「らくらくおでかけ度一覧表」を公表、同省のインターネット・ホームページに掲載した。

対象は1日の平均利用客が5000人以上のJR、私鉄、地下鉄など計3361駅。出入口からすべてのプラットホームまで車イス利用者が単独で移動できる「3つ星」は1199駅、車イス対応型エスカレーターや階段昇降機があり簡単な介助が必要な「2つ星」は526駅、段差が残っている「1つ星」が1636駅あった。東京の駅の場合、3つ星がJR品川、東急東横線渋谷、小田急新宿など、2つ星がJR池袋、渋谷、新宿、東横線池袋、1つ星がJR新橋、高田馬場、営団地下鉄丸の内線池袋、西武池袋などとなっている。

インターネットのホームページ「らくらくおでかけ

ネット」(<http://www.ecomo.or.jp>)で各駅を検索すれば、身障者用トイレの有無なども分かる。

新首相官邸のバリアフリー化

2002.04.17 朝日から

新官邸は階段などの段差を極力減らしたほか、エスカレーターには、車いす対応型の3枚がつながってフラットになるタイプのものが採用されており（官邸内にエスカレーターがあるんだ!?!）、5機ある来客用のエレベーターのすべてが、車いす利用者や視覚障害者に対応している。身体障害者用のトイレも各階に整備された。

旧官邸はエレベーターもない、変則的な4階建てで、パラリンピックで活躍した選手が表敬訪問した際は、車いす利用の選手は官邸に直接入れなかったし、小淵内閣で入閣した八代郵政相は官邸職員や秘書に担がれて階段を上がり下りした。これを契機にようやく、2000年1月に車いす用の昇降機が設置された。

〈建築基準法施行令第129条の3「特殊な構造又は使用形態のエレベーター及びエスカレーターの構造方法を定める件」を改正する告示が出ようとしているのは官邸の昇降機設置がきっかけなのでしょう。個人住宅への段差解消機設置を難しくすることがないようにして欲しいですね。〉

ワールド杯サッカー2002

10会場のバリアフリー度採点

2002.04.04 朝日

神戸・埼玉・札幌が高得点

DPI日本会議、〈日本-在日-韓国〉ユースフォーラムの2団体が、各地の障害者に呼びかけて、各会場を巡回。駅(200点)、駅からのアクセス(100点)、競技場(200点)に分けて原点式で採点した。競技場では車いす利用者用の席からのサイトライン(前列の観客が立ち上がってもピッチが見通せるか)の確保が大きなポイントになった。

「当事者の視点が抜け落ちた『形だけのバリアフリー』が目立つ」という鋭い指摘を調査者に受けた。

長田の商店街活性化の手法

「福祉的サービスを切り口とした商店街活性化は可能か？」

(株)神戸ながた TMO の活動

神戸の新長田界隈といえば、かの阪神淡路大震災で甚大な被害をこうむった地域の一つであり、復興に向けていろいろな取り組みが行われた。1999年10月には「復興大バザール in 長田」開催され、これをきっかけに「ユニバーサル」をキーワードとして商店街の中に以下のサービスが取り入れられた。

- 1) ボランティアによる買い物アテンダントサービス
- 2) 宅配サービス
- 3) シャトルタクシーサービス
- 4) ショッピングカート貸出サービス

しかし、これらのサービスは成功したとは言えなかった。

独居の高齢者が主要な顧客になっている新長田の商店街では、高齢者は2度買い物に来る。昼食用と夕食用で、食材が主要な買い物になっている点から、遅くなる宅配では間に合わない。また、重量物は個々の商店がすでに配達をサービスしている。商店街に買い物に出かけることが引きこもりを防ぎ、コミュニティのつながりを築いていることも見逃せない。ショッピングカートとの貸出しは保管面で問題が生じ、シャトルタクシーは路線やランニングコストがネックとなった。

イベント期間中の調査では、来街者の半数が65歳以上であり、徒歩や自転車で出かけてきている。「高齢者とユニバーサル」という狙いは間違いではなく、手法に問題があった。そこで、商店街までの交通アクセス、および移動のサポートに特化した「外出介助型」のサービスとして「ショップ(タウン)モビリティ」が導入された。

2000年7月から5ヶ月間、旧通産省と兵庫県の補助を受け、「高齢者に優しい商店街づくり事業」が実施された。電動カートの貸出しサービス「ショップモビリティ」、商店街と病院、高齢者住宅などを結ぶ地域巡回型コミュニティバス「買い物ん楽ちんバス」が柱として提供された。事業終了後もショップ

モビリティは地域の協力で継続され、コミュニティバスは事業継続が検討課題に上げられるなど、一定の成果が得られた。そして、この事業のなによりの収穫は地元商店街への福祉的サービスに対する理解が浸透したことである。営利を追求する「商店街」と非営利の色彩が強い「福祉」という一見相反する二つの事象が共存しえるのかが2001年度に商店街の中で議論された。

ショップモビリティを通して、電動カートを貸出しするサービスの提供にとどめず、希望者に販売するという商店街本来の機能に結びつけた。ショップモビリティで試乗をし、購入するという連携ができあがっていった。

さらに、「一店一テンダーキャンペーン」という試みがなされた。「商店街全体が介護ショップ」というキーワードに、新長田地区の商店が販売品目の中に一つ介護用品または順ずるものを取り扱うというものである。介護用品に限定するのではなく、物販店以外では、「車いすでもカウンターで寿司が食べられます」「1Kgから米が買えます」など、様々な工夫を店ごとにこらした。

2002年4月からはショップモビリティの有料化に踏み切った。2年間の事業が地域に定着してきた結果、商店街だけのお買い物利用だけの「ショップモビリティ」から、長田区全域に長期レンタルも含めて広く貸し出していこうと、名称も「タウンモビリティ」としてスタートを切った。

福祉的サービスを提供することは商店街にとって大いにメリットのあることである。街のイメージが向上し、常連客以外の集客をが可能となっている。しかし、これは地元商店街主の理解なしにはなりたない。「貸す人」「借りる人」だけでなく、「見守り応援する人」の理解が不可欠である。新長田では、行政、メーカー、社会福祉協議会、ボランティアセンター、婦人会、自治会、第三セクター、商工会議所など、まちづくりに関わるすべての団体がそれぞれの観点から福祉サービスに力をそそいでいる。互いにそれぞれにメリットを見出し、無理のない事業推進体制を確立させることが成功の鍵である。地道にゆっくりと時間をかけて育てていくべき事業であろう。

本稿は(株)神戸ながた TMO 総括マネージャー東朋治氏
氏原稿をもとに相良が作成したものです。

新長田商店街は、JR 新長田駅、神戸市営地下鉄新長田
駅から南に伸びる商店街です。W 杯サッカーの会場である
ウイングスタジアムも近く、古い顔と新しい顔の両方をも
っている街です。http://www.kobe-nagata-tmo.com/

ショップモビリティ・タウンモビリティは各地で実施
されていることと思います。どうぞご紹介ください。

事務局から

日本福祉のまちづくり学会第 6 回全国大会は岐阜県
高山市での開催を目指して会場や宿泊先の調査に取り掛
かっています。現在は支部組織は関西しかありませんが、
熊本での開催を契機に九州支部の結成も計画されていま
す。高山大会が中部支部結成の契機となりますよう、中
部地域の会員の皆様よろしくお願ひします。

全国大会の開催地決定のルールは定まっています。これ
までは理事会主導で開催地を決め、現地事務局の設立
や運営をお願いしてきました。もし、全国大会をぜひとも
わが町でと誘致をされるところがありましたら、事務局まで
ご連絡ください。

新しいパンフレットの配布

当学会では学会活動の PR と会員勧誘を目的に A4 3
つ折りのリーフレットを作成しています。なにかイベン
ト等で多数配布する機会がありましたら、事務局までお申
し付けください。

学会からのお知らせの電子化

当学会では現在、メールアドレスを登録されている会
員には電子メールと郵送の 2 本立てで連絡をしています。
郵便にくらべ、電子メールには速報性やコスト削減の利
点があります。しかし、郵便で送られてくる紙上の情報
でないと活用や取り扱いに不便をきたすかたもいらっ
しゃることでしょう。ご承知のように当学会の財政規
模は極めて脆弱であります。できれば今後、電子メール
やウェブページを用いた広報に移行をしたいと考えて
います。そこで、今回会員の皆様の電子化された情報
アクセスについての実態をお知らせいただきたくと思
いますので、最終ページのアンケートにご

記入のうえ事務局へ FAX いただくか、学会事務局へ
電子メールで内容をご送付ください。

なお、事務局からの案内（当ニュースレターを含
みます）につきまして、郵便による二重の連絡は不要
であるという方は、ぜひ電子メール配信にご登録いた
だき、郵送費用の削減にご協力ください。

ニュースレターへの情報求む

ニュースレターの発行が遅れ大変ご迷惑をおかけ
しました。ひとえに新広報部長である私の責任ですが、
紙メディアの悲しさで、なかなか新しいニュースは配
信することができません。印刷発行され、皆さんのお
手元に届く頃にはもはや時代遅れのニュースになって
しまうからです。

このためにも、会員相互に手軽に情報交換ができる
メイリングリストや掲示板などの電子広報を活用した
いと思っています。また、各地域の動きや話題など
気軽に事務局までご紹介くださいますようお願いいた
します。
(相良)

「福祉のまちづくり」は、暮らしづくり、生きがいづくりの応援団。

第5回

日本福祉の まちづくり学会

日時／平成14年8月8日(木)・9日(金)・10日(土)

会場／熊本市民会館 熊本市桜町1番3号 TEL096(955)52915



プログラム

基調講演

「福祉のまちづくりの新しい連携」-地域リハビリテーションの実践を通じて-

日本福祉のまちづくり学会 会長 澤村誠志

特別講演

「福祉のまちづくりとユニバーサルデザイン」

熊本県知事 潮谷義子

「熊本市における低床電車・バスに至るまで(仮)」

熊本市長 三角保之

「上海市における福祉のまちづくり(仮)」

上海市紅十字会 会長 謝麗娟

研究発表・論文発表
ボランティアとボランティアスピリッツ(公開)・「福祉のまちづくり学」の創造と実践
福祉のまちづくり学校・懸賞論文の募集
全国市町村等の地域における福祉のまちづくりの事例発表
その他、福祉情報誌・書籍販売・懇親会・見学会

お問い合わせ・お申し込みは…

医療法人社団寿豊会 熊本機能病院企画広報課内
日本福祉のまちづくり学会第5回全国大会事務局 担当:五島
〒860-8518 熊本市山室6-8-1 TEL096-345-8111

日本福祉のまちづくり学会
大会長:米満弘之

日本福祉のまちづくり学会副会長
熊本機能病院理事長

広報誌の電子化に対するご意見をお聞かせください

このページをFAXで、または要点だけを電子メールで下記までご回答ください。

日本福祉のまちづくり学会連絡先

(財) 国土技術研究センター 研究第一部

FAX 03-3592-2683

E-mail: Fukushi@jice.or.jp

Q1 あなたは電子メールを日常度の程度の頻繁で読みますか

1. ほぼ毎日 2. 週に数日 3. 週に1～2回程度 4. ほとんど見ない 5. 全く見ない

Q2 あなたは学会からの広報や案内を電子メールでもらいたいですか？

1. はい 2. いいえ→Q5に進んでください

Q3. Q2で1. はいと答えた方におたずねしますが、紙メディアでの情報郵送は二重には不要ですか？

1. はい、電子情報だけでよい 2. いいえ、電子情報だけでなく郵送も必要

Q4 Q2で1. はいと答えた方におたずねしますが、どのような形式の情報配信を希望されますか？（複数選択可）

1. 電子メールによる配信 2. メールマガジン形式 3. WEB上に公開

Q5 あなたは福祉のまちづくりに関連するメイリングリストや掲示板、フォーラムなどに興味はありますか？

1. ぜひ積極的に参加し活動したい 2. 読むことが中心の参加と思う
3. 興味がない 4. インターネットが利用できない環境にある

必ず！

氏名

所属

電子メールアドレス

@